

ながしま 議会だより

Nagashima town Assembly News

No.47

第2回臨時会 〈H29.5.26〉

6月定例会 〈H29.6.12～6.21〉

夏の風物詩「西瓜」
すいか
汗をかいた時の水分補給に最適
で、体力消耗の防止、疲労回復
にも一役買います！

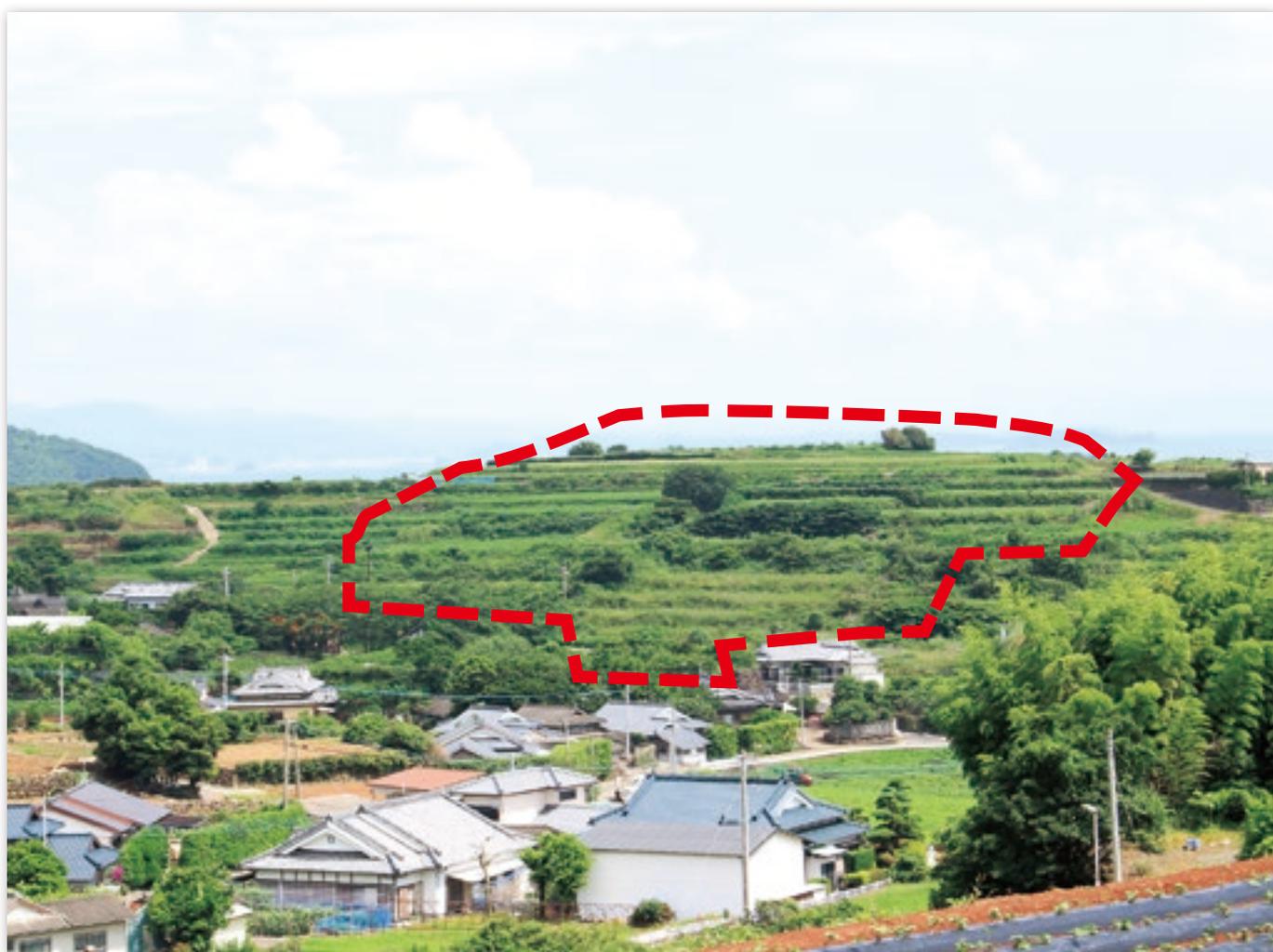
臨時会・定例会で決まったこと ②

町政を問う（一般質問） ⑦

委員会の審査報告 ⑫

要望活動報告 ⑭

3億2,366万6千円 追加



↑ほ場整備される広野地区（赤の点線で囲まれた部分が整備予定地）

長島町議会は平成29年第2回長島町議会臨時会を5月26日に開会し、日本マンダリンセンターや川床ふれあい広場施設の指定管理者の指定について、旧田尻小学校の土地の売却及び建物の無償譲渡など、議案7件、承認2件を可決した。

また、平成29年第2回長島町議会定例会が6月12日から21日までの10日間の会期で開かれ、平成29年度の一般会計補正予算（3億2,366万6千円追加、総額102億8,388万1千円）や特別会計補正予算、長島町役場支所設置条例や長島町学校教育施設整備基金条例の制定など議案12件を可決。陳情2件を採択、1件を不採択とした。

平成29年度の一般会計予算に

平成29年度の一般会計予算のほか、国民健康保険、介護保険、簡易水道、農業集落排水、漁業集落環境整備、水産種苗供給、後期高齢者医療の7特別会計補正予算を原案可決した。

今回、計上された予算の主なものは次のとおり。

主な事業

多目的広場(山中交差点下)整備工事設計委託料	22,292千円
長島の魅力を様々な方面から描き出す映画製作委託料	10,000千円
山門野分団田尻班消防格納庫新設工事	29,153千円
獅子島水俣航路改善計画策定費	3,370千円
認定こども園さすえ施設整備事業(さすえ児童クラブ関係)	17,335千円
汐見地区藻場造成事業(漁場環境保全創造推進事業)	15,000千円
幣串漁具倉庫整備事業(特定離島ふるさとおこし推進事業)	17,658千円
漁港水域機能保全測量計画策定業務委託料	
(伊唐北、観音、大島、汐見)	12,000千円
温泉センター椿の湯土地購入費	8,940千円
水産種苗センターろ過機修繕工事費	5,746千円
長島ぐるっとフラワーロード沿線景観整備事業	10,424千円
町道藤之元口之福浦港線改良に伴う送・配水管布設替工事費	5,000千円
長岡技術科学大学への調査委託料	10,000千円
イノシシ侵入防止柵等購入補助費	12,600千円
平成27年台風15号による町有林被害木整理と植栽費	6,000千円
獅子島地区林道の法面改良費	
(特定離島ふるさとおこし推進事業)	9,788千円
獅子島片側地区の樹園地モノレール整備事業	
(特定離島ふるさとおこし推進事業)	36,404千円
平尾地区農用水資源開発調査に伴う水中ポンプ設置費	5,900千円
広野地区ほ場整備費	40,000千円
御所ノ浦地区道路整備費	7,592千円
母良木地区県単急傾斜地崩壊対策事業費	6,100千円
御所ノ浦地区野積場舗装整備事業	9,312千円
指江学校給食センター売却に伴う基金積立	3,000千円
鷹巣小学校校舎耐力度調査委託料	4,794千円
総合運動公園整備事業(多目的広場・総合町民体育館)	58,000千円



田尻班消防格納庫新設予定地
(二本松グラウンド)



水産種苗センターのろ過機



鷹巣小学校の老朽化状況を調査

指定管理

日本マンドリンセンターと総合交流ターミナル施設の管理者指定

日本マンドリンセンター及び総合交流ターミナル施設の効果的かつ効率的な管理を図り、サービスの向上に資するため、平成29年6月1日から平成34年3月31日まで、株式会社岩下建設を指定管理者として指定した。



↑日本マンドリンセンター



↑総合交流ターミナル施設

条例

日本マンドリンセンターの設置及び管理に係る条例の一部改正

利用者が減少傾向である日本マンドリンセンターの使用条件等を緩和し、今後の利用者増加に向けて町民等が利用しやすくするため、本条例の一部を改正した。

日本マンドリンセンターの入館料と使用料

○入館料

改正前

区分	入館料	
	個人	団体 (20人以上)
小学生・中学生	150円	100円
その他の者(幼児を除く。)	300円	250円
幼児(未就学児)	無料	

改正後

区分	入館料
小学生・中学生	無料
その他の者(幼児を除く。)	
幼児(未就学児)	

○使用料

改正前

区分		使用料		
		昼間(1日) 9時~17時	昼間 (時間単位) 9時~17時	夜間 (時間単位) 17時~22時
入場料等を徴収しない場合	企画展示室	2,000円	1時間につき 300円	—
	研修室	3,000円	1時間につき 400円	1時間につき 500円
入場料等を徴収する場合	企画展示室	3,000円	1時間につき 400円	—
	研修室	4,000円	1時間につき 500円	1時間につき 500円

改正後

区分		使用料		
		昼間(1日) 9時~17時	昼間 (時間単位) 9時~17時	夜間 (時間単位) 17時~22時
入場料等を徴収しない場合	企画展示室	1,000円	1時間につき 200円	—
	研修室	2,000円	1時間につき 300円	1時間につき 400円
	展望所	2,000円	1時間につき 300円	1時間につき 400円
入場料等を徴収する場合	企画展示室	2,000円	1時間につき 300円	—
	研修室	3,000円	1時間につき 400円	1時間につき 600円
	展望所	3,000円	1時間につき 400円	1時間につき 600円

↑改正内容

指定管理

川床ふれあい広場施設の管理者指定

長島町川床ふれあい広場施設を民間の知恵と活力で再興を促すとともに、効果的な管理を図るため、平成29年6月1日から平成34年3月31日まで、有限会社上田エンタープライズを指定管理者として指定した。



↑川床ふれあい広場施設

承認

専決処分の承認

平成28年度の長島町一般会計と国民健康保険、国民健康保険診療施設、介護保険、簡易水道、後期高齢者医療の5特別会計の補正予算を専決処分したことが報告され、承認した。

また、長島町税条例の一部改正と長島町国民健康保険条例の一部改正を専決処分したことが報告され、承認した。

その他

町有財産の処分

企業誘致による新たな企業の促進や雇用が確保されるなど、地域への経済波及効果が大きく、地域の活性化に資する利活用を図ることを目的として、旧田尻小学校の土地を、株式会社東郷（鹿児島市川田町・代表取締役 東成生）に4,166万7千200円で売却することとした。

町有建物の無償譲渡

企業誘致による新たな企業の促進や雇用が確保されるなど、地域への経済波及効果が大きく、地域の活性化に資する利活用を図ることを目的として、旧田尻小学校の建物を、株式会社東郷（鹿児島市川田町・代表取締役 東成生）に無償譲渡することとした。



↑売却・無償譲渡が決まった旧田尻小学校

報告

歳出予算の繰越

平成28年度長島町一般会計と簡易水道特別会計の繰越明許費に係る歳出予算（町道整備事業Ⅱ3億2,944万3千円、東保育園・認定こども園さすえ整備事業Ⅱ3億2,653万6千円、総合運動公園整備事業等Ⅱ1億8,384万円など）の繰越について報告された。

※繰越明許費Ⅱ歳出予算の経費のうち、その性質上または予算成立後の事由により当該年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて、予算の定めるところにより翌年度に限り繰り越して使用することができるとのこと。



↑予算が繰り越された保育所緊急整備事業（東保育園）

条例

長島町の事務所の位置等を定める条例の一部改正

役場庁舎を分庁方式から本所・支所方式へ移行するため、本条例の一部を改正した。
長島町役場支所設置条例を制定
 役場庁舎を分庁方式から本所・支所方式へ移行するため、条例を制定した。

長島町学校教育施設整備基金条例を制定

指江学校給食センターの有償譲渡に伴い、補助事業完了後10年を経過しており、学校の施設整備を目的とした基金を積み立てることで国庫納付が免除される取扱いとなっているため、基金を設置した。

その他

町有財産の無償貸付

本町の観光振興の拠点として民設・民営による大型宿泊施設を建設するため、土地を株式会社トスアンドSKリゾート（鹿屋市共栄町・代表取締役社長 小野賢治）に無償貸付することとなった。



↑無償貸付する土地（長島町文化ホール下の多目的広場）

陳情

子どもたちの教育環境改善を求める陳情

長島町指江の久保省治氏から提出された「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるため、2018年度政府予算に係る意見書採択の要請について」を採択し、同趣旨の意見書を可決した。

安定ヨウ素剤の希望者への事前配布計画を求める陳情

長島町山門野の古田勇氏から提出された「安定ヨウ素剤の希望者への事前配布計画を求める陳情」を採択し、同趣旨の意見書を可決した。

長島町役場（鷹巣）を本所、指江庁舎を支所とするための条例改正等の議案の町議会定例会での否決を求める陳情書

長島町城川内のまちづくりNPO法人（特定非営利活動法人）あたたかいcocoro長島理事長大戸宏章氏から提出された「『長島町役場（鷹巣）を本所、指江庁舎を支所とするための条例改正等の議案』の平成29年第2回長島町議会定例会での否決を求める陳情書」は、本所・支所方式は、移行することによって効果が大きく、サービス低下がなければ問題ないとのことから、不採択とした。

一般質問

施策を問う

委員会代表質問
総務民生常任委員会代表

林 義明 議員



鷹巣診療所整備計画の進捗状況は

林議員 鷹巣診療所は町の中核診療所として、町民の健康管理に寄与しているところである。

築36年位で老朽化が進み、患者に不便を来たし、新築の要望が強いが、施設整備計画と進捗状況は。



↑鷹巣診療所

町長 施設整備計画は、町の全体事業計画等を勘案し、第2次総合振興計画に沿って年



↑鷹巣診療所の狭あいな病室

林議員 光ファイバーは、電気信号を光に変えて情報を伝達するケーブルで、従来のアナログ回線などと違い

光ファイバー施設整備計画は

次的に整備を進める。進捗状況は、今年1月から5回、県・国と協議しているが、補助対象事業がなく、また該当しても補助金が少額の状況である。しかし、木材を利用すれば有利な補助金を受けられるとの情報があるので、今後積極的に研究、要望していく。



↑光ファイバー通信導入が待たれるパソコン

通信が安定している、高速通信ができる、大容量のデータ通信ができるなどの特徴がある。

町長 県内の光ファイバー空白地帯は長島のみである。町民の生活満足度を高め、新規ビジネスを誘致するために、必要不可欠であるが、現在の進捗状況は。

町長 昨年度策定した、第2次総合振興計画のとおり、平成30年から年次的に実施したい。

基金の運用は

事業推進は、以前は自治体が独自に、総務省の補助金2分の1で整備していたが、最近では市町村が負担金を払うという制度ができているので、本町もこの制度で郵便局ごとに年次的に推進したい。

林議員 本町は全ての会計で黒字額となり、標準財政規模に対する黒字額の割合は、一般会計で約10%、その他

の会計で約6%、全ての会計で16%となっている。

基金積立も、平成29年3月末、13基金総額で59億9千万円となっている。

標準財政規模を類似団体と比較すると多い方である。健全な財政運営ができてきている結果であるが、この基金の運用の進捗状況は。

町長 基金は健全な財政運営を行う上で必要不可欠なもので、補助対象外及び起債対象外の事業を実施するなど、必要に応じて活力と財政の調和を図りながら活用すべきである。

また、基金活用検討委員会での意見を参考に、現在の予算規模や標準財政規模等を考慮して適正な管理運営を図りたい。

委員会代表質問
建設経済文教常任委員会代表

川上 勇 議員



バレイシヨ振興策を問う

種苗生産事業の成果は

川上議員 昨年の9月議会で新潟県長岡技術科学大学と提携し、バレイシヨの抵抗性種苗生産事業がスタートすることとなった。その成果について伺う。

町長 現在、大学で「ニシユタカ」の栽培を行っている。10月に定植し、12月に収穫、温存して来年の1月に

なっており、段階的に計画推進する。

また、種子の生産者、農協や民間業者等関係機関の連携強化のため、プロジェクトチームを立ち上げたい。

収穫作業の補完対策は

は植え込み、5月には収穫する実証実験を継続したい。

種苗確保対策は

川上議員 北海道のバレイシヨが風水害や線虫などで被害を受けており、長島の種いもの確保に影響が出るとの懸念すべき情報がある。その対応策を伺う。

町長 7月に北海道を視察し、現状と今後の見通し等、農水省からも説明を受けることに

労働者を派遣されている農協や民間業者に対して補助金を支給できないか研究したい。

農業、漁業の繁忙期における町雇用の労働関係の連携は大事であると認識しているので、

前向きに努力したい。

基幹産業の後継者育成を問う

長島型就農支援は

川上議員 深刻な農業



↑実証実験中のバレイシヨ種子生産

後継者不足を解消するため小規模で国・県事業のように制約を受けない、先進事例にもあ

る農林漁業者激励金、結婚祝金等、長島型就農支援はできないか。

町長 子育て支援に力を入れている。

仔牛やバレイシヨ、みかんの価格等安定させ、所得向上することが後継者対策に連動する。

町外勤務者の通勤支援は

川上議員 町外勤務者は、通勤時間、交通安全面からも大きな負担がある。先般の一般質問に対する財源調査と今後の対応はできないか。

町長 町外勤務者は、1,000人以上見込まれる。

職場での通勤手当、通勤体系等の把握は困難と思われる。

財源も膨大な予算となり、子育て支援等、今後も住みやすい町づくりを進めたい。

宿泊施設の利用拡大は

川上議員 交流事業の多い中、宿泊客の増大を図るため、宿泊料金の割引支援はできないか。

町長 新たな大型宿泊施設や阪急交通社等による宿泊客の増加が予想される。割引支援は今後の状況を見て検討したい。

また、地元の宿泊施設と新たな大型宿泊施設の両施設の活性化を図るため、平等に恩恵が受けられるように同時に発足させたい。

小田 勝志 議員



は 空き家対策の現状

小田議員 昨年7月か

ら空き家実態調査を実施し、今年3月に調査結果をまとめ、報告することのことであった。

①調査結果について、空き家の戸数と種類は。

②調査の結果、条例制定することであるが、その時期はいつか。今年度中の制定はできないか。

③空き家の中でも、放置すれば倒壊または不安上の危険になるおそれのある空き家（特定

空き家）の撤去や、利用を促す特別措置法が27年度に施行された。

既に国の補助金を活用している県内市町村もある中で、条例の具体的内容は。

④空き家の有効利用の観点から、今後より奨学金等、若者のUターンを予想し、空き家を町で一定期間借り上げ、必要に応じて改築し、町営住宅として貸し出す制度はできないか。

町長 ①調査戸数5, 174戸のうち、



↑町内の空き家状況

ち、空き家と判定されたのは857戸。そのうち32戸が特定空き家と判断される。

AⅡ健全空き家、BⅡ修繕すれば使用できる、CⅡ危険空き家（特定空き家）の3種類に分類した。

各公民館長に依頼し一次判定し、住宅センターに二次判定を委託。その後景観推進課で判定した。

②今年度、協議会（弁護士等を含む9人）を設置。再度判定するので、条例の制定時期はその結果を踏まえ早ければ今年度を目指す。

③他の市町村の事例も含め長島町に合う条例を制定したい。

④必要性を感じていた時期もあった。

現在、町の定住促進空き家活用事業の補助率等が適正か、今後地方創生室で調査し、実態に合った制度確立に向け指示している。

長岡技術科学大学の誘置は

小田議員 ①5月に議

会でキャンパス誘致について要望に行き、学長より前向きな回答をいただいた。

長岡技術科学大学による総合プロジェクトの中に、「長島の産業活性化による雇用創出、人口増加」や、「全国の高専と連携した地域産業活性化の先進モデル」としアピールしたい、「本学のブランチャを長島に設置したい」

との計画がされている中で、キャンパス誘致の場所についてどこを検討しているか。

②誘致場所は、学生生活の環境が整備された場所で、様々な研究ができるマンダリンセンターが適しているのではないか。

また、太陽の里まで

③長島の活性化のためにも早急な誘致を依頼したいが、誘致の時期はいつか。

③誘致に当たっては、町の負担軽減のために経済産業省の補助事業の申請や、長島独自の総合戦略を策定し、補助事業の導入で軽減を図りたい。

町長 ①現在研究所は指江庁舎を考えている。指江を拠点に地域の活性化につなげた

②テクノパークの位置づけもあるが、マンダリンセンターは将来、



↑長岡技大の視察状況

住民へのPRを含め、長岡技術科学大学は九州の拠点としての位置付けとしたい。

そこで、秋の長島一周駅伝大会で九州の高専の学生との交流ができないか考えている。

浦 弘成 議員



イノシシの被害対策強化は

浦議員 ①被害の現状と対策は。進入防止柵などの補助で、1ヘクタール以下の小規模な箇所への補助はできないか。

②県内のある市では、有害鳥獣駆除を対象にした国の交付金制度をめぐり、捕獲数を水増し報告し、報償費の不正受給問題が起った。町の交付金要領はどうなっているか。

③町は、長岡技術科学大学と鹿児島工業高等学校との連携協定

を行った。その鹿児島高専がドローンを使い、鳥獣撃退を研究している」と新聞にあつた。今後の強化策として、その鹿児島高専と連携し、新たなイノシシ駆除の強化はできないか。

町長 ①平成28年度の捕獲数は707頭で、被害額は約212万円であった。捕獲事業を活用し、電気柵や侵入防止柵で対策を図り、捕獲員を3人常時雇用、1人を補助員として猟友会へもお願いし、年間を通して駆除

している。小規模な地域への補助も、県に要望していく。

②捕獲報償金は、成獣で国が8,000円、町が6,000円の計14,000円、幼獣で国が1,000円、町が6,000円の計7,000円である。確認は年4回、捕獲個

体の写真と両耳で、証拠となる写真撮影も実施している。

③その問題については、適宜・適切に対応していく。

林業の現状と今後の対策は

浦議員 ①森林整備と

除間伐事業の現状は。

②間伐材の利用など、今後の対策は。

町長 ①森林整備地域活動支援交付金事業を実施している。

また、民有林間伐推進及び除間伐の補助には、1ヘクタール当たり5万円を補助している。

②杉やヒノキが主であるが、良木は水俣市やさつま町の木材市場に搬出している。

また、被害にあつた木材は、阿久根市や薩摩川内市にチップ材として搬出している。

学校教育現場の状況は

浦議員 ①教員の過重労働問題は。

②ゆとりを取り戻す対策による子供たちへの教育の影響は。

教育長 ①町の教職員は、子供たちのことを第一に考え、健全育成のため誠心誠意勤務している。

教科の指導に加えて部活動の指導に取り組んでいることなどを踏まえ、勤務時間の改善の必要があると考えている。

②各学校においては、週に一度の定時退庁日を設け、部活動の休止などの工夫をしている。

教員の負担軽減の方策として、指導方法改善の加配教員の配置や、特別支援学級を配置している。

また、定期的な健康診断や人間ドックを推奨している。

今後、児童生徒に手厚い指導を進めるとともに、教員の働き方改革につながるよう配慮していきたい。



↑町で購入したドローン



町道崎野線から橋を含めた指江古墳群まで道路整備を

古田議員 指江古墳は海岸の防風林内にある石室で、約140基ある。

我が国でも類をみない竪穴式古墳として、西南九州の原始、古代を研究する上で重要視され、昭和38年6月に長島町初の県指定の古墳群となった。

本町の文化遺産、史跡など、価値あるすばらしい指江古墳群を観光の拠点とし、道路整備と併せた駐車場トイ



↑道路整備が望まれる指江古墳群周辺

レの設置はできないか。
町長 指江川は二級河川で、県の管理である。崎野線からの橋は生活

の面からみても最短距離で、必要性があると痛感している。

以前、県に相談されたとのことで、引き続き県に相談されてはどうか。



↑マンダリンセンターみかん園の現状

マンダリンセンターのみかん園の充実を

古田議員 日本マンダリンセンターのみかん園は、平成5年10月にオープン。

平成19年までの14年間は町が管理、平成21年4月から今日まで指定管理として運営している。

補助金を含め、綿密な話し合いがなされていたのか疑問である。専門家の指導のもと、行政もサポート体制を強

化すべきではないか。

町長 みかん園については、16,000㎡の面積で298品種を植栽している。

近年、枯死により減少しているため、補植している。町としては、専門家の技術指導、園の活用方法も含めてしっかりとサポートしていく。

生産向上と品質向上にも努め、思い切った転換の必要性も含めて検討していく。

道の駅(指江)周辺の観光の強化策は

古田議員 サンセット長島周辺の見直しの中に温泉掘削があり、結果、豊富な湯量が認められた。

そこで、観光客の増員策として、雄大な東シナ海、天草のすばらしい風景の中で、夕陽が見られる足湯がでないか。

町長 サンセットの丘大改造整備を考えてい

る。温泉水の利用については、現在、大型宿泊施設と温泉施設での利用を計画中である。

足湯については、利用できる水量かどうか確認し、可能な場合は衛生管理や設置基準などを検討し、活用を図る。今回、地域振興推進事業の特別枠の中で、東シナ海を一望できる風光明媚な小高い丘のサンセットの丘長島(仮称)を計画し、地域振興、観光振興を図る。



↑解体が予定されているサンセット長島

2つの委員会での議案等審査

2つの常任委員会で議案等を審査
各常任委員会の主な審議内容を紹介

総務民生常任委員会 委員長 林 義明

▼企画財政課所管

問 獅子島―水俣間の航路改善計画の目的は。

答 航路改善計画の最終目的は、国庫補助航路に指定されることである。

園児数は。

答 放課後児童クラブの施設整備で、面積84㎡、総事業費2千3百11万5千円、園児数は57人、放課後児童クラブの児童31人である。

▼総務課所管

問 町有地貸付で一部残った法面の管理は町が行うのか。

答 ホテル建設に必要な部分のみの貸付で、法面は石積み等の計画もあり、管理は町が行う。

▼町民福祉課所管

問 指江児童クラブの整備とは。総事業費、

おり窓口で行うが、保険証の様式は県内統一となる。

▼陳情

安定ヨウ素剤の希望者への事前配布計画を求める陳情

▼平成29年度長島町国民健康保険特別会計補正予算

問 平成30年度から新制度に移行するが、その内容は。

答 これまでは町で保険料を決めていたが、これから県が標準的な保険料を決め、それに応じて町が保険料を決定。

▼連合審査

議案「長島町の事務所的位置等を定める条例の一部を改正する条例について」と、「長

島町役場支所設置条例の制定について」、陳情「長島町役場（鷹巣）を本所、指江庁舎を支所とするための条例改正等の議案の平成29年第2回長島町議会定例会での否決を求める陳情書」については、他の委員会と連合して審査することが効果的であり、徹底することから、建設経済文教常任委員会と連合審査を実施。

問 地方自治法第4条第3項に規定する、出席議員の3分の2以上の同意はどうなるのか。

答 地方自治法第4条の解釈4項で出席議員の過半数で決すればいいと規定されている。

問 指江庁舎の課の設置案はどうなるのか。

答 農業委員会、教育委員会、総合管理課を



↑現在の指江庁舎

設置し、総合管理課内に水道課、農林課、耕地課、建設課の窓口業務ができる部署を設ける。

▼委員会所見

指江庁舎利活用について、急激なサービス低下がないように、また、支所機能の充実を図るため、特にバレイシヨの革新的種苗生産を研究し、定着させるため農林課を残してもraitaitaiとの意見があった。

陳情書については、本所・支所方式は合併時の協定であり、移行することによって効果が大きく、サービス低下がなければ問題ない意見があり、不採択すべきものと決定した。

建設経済文教常任委員会 委員長 川上 勇

▼景観推進課関係

問 空き家対策について、857戸の空き家中32戸の調査を行う根拠は。

答 国が定める保安上危険、衛生上有害、景観を損なっている及び生活環境の保全を図るため除却すべく特定空き家等である。

問 ガードレールをガードケーブルに取り替える事業は、今後実施するののか。

答 未実施が3路線で2,780メートルであるので、完了するまで実施したい。

▼水産商工課関係

問 指江の温泉センター土地購入について、現在の賃料は。

答 年間27万5千円。25年間で667万円を支払っている。土地所

有者の相続人と売買に
関し合意したので89
4万円を計上した。

▼教育総務課関係

問 鷹巣小学校の耐力調査について、対象校舎とその建築後の経過年数及び全面改築の計画は。

答 3階建て部分となる。築後の経過年数は44年であり、今回の調査で国の補助要件に該当すれば改築したい。

▼社会教育課関係

問 海洋性レクリエーション体験活動の委託先は。

答 町内のB&G指導者会15人に委託する。

熊本県から7月と8
月に3回、1回当たり
30名程度帆船で来訪予
定である。本町の子供
達との交流経費や帆船
までの船の借り上げ料

となる。

▼建設課関係

問 本浦地区防波堤測量費、獅子島港の柏栗地区等の工事費6,600万円の減額となっている理由は。

答 他の地区との事業費調整のため減額となった。できるだけ早く施工できるようにしたい。

▼耕地課関係

問 獅子島片側地区のモノレール整備対象は何人か。

答 対象者は全員で15人である。この事業は平成27年度から4カ年の計画である。

▼農林課関係

問 ジャガイモの種いも研究事業と長岡技術科学大学との協定事項における今後の推進計

画は。

答 今年度計画は、「ニシユタカ」の増殖した種苗を10月定植、12月収穫、温蔵処理後、1月に定植できるまでを実証試験する。

長岡技大との協定事項の推進は、
①バレイシヨ種いも生産技術の実証
②風車開発に伴う風力調査
③農業後継者対策・労力低減技術調査（アシストスーツ）
④悪臭対策調査
⑤教育機関と連携したイベント、国際交流の実施

など大学と協力して、類似事業の採択と積極的な予算確保を図る。

▼現地調査での意見

だんだん市場の国道沿い垣根は、適正な管理を行い、交通安全対策を図る必要がある。

▼陳情

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるため、2018年度政府予算に係る意見書採択



↑だんだん市場周辺を視察する建設経済文教常任委員会

の要請については、複式学級の解消など義務教育費予算は重要な課題であるなどの意見が多くあり、採択すべきものと決定した。

長岡技術科学大学の長島キャンパスの誘致活動と 福島県の小野川製作所を視察研修

議長 児島 薩男



長島町議会は、5月17日から19日までの3日間、長岡技術科学大学の長島キャンパス誘致活動と小野川製作所を視察研修した。

長岡技術科学大学の長島キャンパスの誘致活動

長島町は、本年1月に、新潟県の長岡技術科学大学及び鹿兒島工業高等専門学校と7項目の事項で相互に協力し、地域社会の発展と人材育成など寄与することを目的に、3者に

よる包括的連携協定を締結した。

さらに、これを受けて、3月には町で初めての国際会議となる「食糧・エネルギー分野のイノベーションによる地方活性化による国際会議」が開催され、国内外の有識者による基調講演や学生による長島町活性化プロジェクト案の発表、農業用アシストスーツの披露などがあり、意見交換が活発に行われた。

長岡技大は、実践的・創造的能力を備えた指導的技術者の育成という社会的ニーズに応えるため、実践的な技術の開発を主眼とした教育研究を行い、大学院に重点を置いた工学系の大学として、昭和51年に新潟県長岡市に設立された。高度な技術力と豊かな人間性を持ち、未踏領域・未

踏分野に挑戦し、技術イノベーション（革新）を興せるグローバルな技術者を育てる大学である。

4年次には卒業研究ではなく、国内外の企業で約半年間、実務訓練を行い、強固な実践力を身につける。そしてほとんどの学生が大学の修士課程を卒業する。

昨年、日本経済新聞社などが行った「企業の人事担当者から見た大学のイメージ調査」では、全国800大学のうち、名だたる有名大学をおさえて同大学が1位となった。

○要望書提出

長岡技大は前述の協定先に先立ち、昨年11月から町の基幹産業であるバレイシヨの種苗生産技術（革新的種苗生産法）の研究を、町所有の種苗センターや

町内ガラスハウスなどで取り組んでいる。

町内で栽培される種子バレイシヨのほとんどは北海道産であり、海上輸送の面から種子代が経費の大部分を占めるため、農家の所得が伸び悩む一因となっている。また、昨年の8月以降の大雨災害により、種子バレイシヨの産地である北海道のほ場が被害に遭ったことで、町へ入ってくる

種子バレイシヨの品質の低下や単価の高騰が懸念される。それらの解決策の一つとして、もし「長島で種子バレイシヨをつくる」ことができれば、低価格かつ高品質の種子バレイシヨを農家が確保できるので、農家所得の向上につながると考えられる。

その他にも、長岡技大はエネルギー（太陽光、風力、潮力、バ



↑東学長に要望書を提出する児島議長

イオマスなど）や食糧・環境（微生物による土壌改良）関係についても幅広く研究をしており、現在、長島町が行っている事業や抱えている問題と重なる部分が多く、双方にとって共同研究する利点も大きいと考えている。また、長岡技大は冬には雪が降り厳寒のため、長島町は温暖で研究環境に適しているとの大学の考えもあった。

長岡技大のキャンパス誘致が実現するとすると、当然キャンパスには学生が来ることになる。学生らは理科だけでなく、英語などの語学もしっかりと学んでいるので、長島の子ども達と交流することで実践教育ができ、人材育成にもつながる可能性がある。これは、現在、町が地方創生で取り組んでいる「獅子

島の子落とし塾」と重なり、非常に興味深い。

以上、町が抱える課題解決及び地域活性化のために、長岡技大が進める様々な研究材料となりえる素材が多いこの長島で研究を進められるよう、長島キャンパス（仮称）誘致についての要望書を長岡技大の東信彦学長に提出した。東学長からは、「ぜひ長島に本学のキャンパスをつくりたいと思っている。早いうちに検討して、実現したい。」と力強い回答をいただいた。

福島県の小野川製作所を視察

○視察の背景

本年4月に田尻小学校が川床小学校と統合されたことで廃校となり、田尻小学校跡地に鹿児島市の株式会社東郷が進出することが決

まった。

東郷は、超精密の金型専門メーカーで、半導体パッケージの内部の配線に使われる薄板金型の「ICリードフレーム」や「コネクタ金型」、通信機器や自動車などに使われる「モーターコア金型」を製造販売している会社である。また、海外へ活路を求め、タイに拠点を置き、高性能の製品を製造・販売している。「小さくても一流の企業を目指そう」をモットーに、鹿児島発のグローバル企業として、付加価値の高い製品を世界に届けている。

しかし、金型を作る過程でメッキ加工があるとのことであり、メッキを洗浄した廃液が海に流出し、公害に発展するおそれがあるのではないかと、一部住民に不安があった。

そこで、東郷が最新のメッキ洗浄技術を提供してもらっている福島県の有限会社小野川製作所を視察し、安全性について検証することにした。

○小野川製作所を視察
小野川製作所は福島県いわき市にあり、主に情報通信機器用と自動車用のコネクタを製造している。

小野川社長とメッキ



↑メッキ処理の状況を視察

技術責任者の工場長から説明を受けた。メッキを取り扱う会社では、通常、廃液のタンクの長さは30から50メートル必要で、毎日何百トンも排出される。そして基準値以下に水処理してから下水に流す方法をとっているのが一般的である。しかし小野川製作所では、メッキ洗浄の工程は約1メートルと短く、その中の廃液は5リッ

トルほどしかない。しかも下水には流さず、イオン交換樹脂ポンベや活性炭ポンベで水処理をして、純水にしてから何度も再利用する。何度も使用すると純度は下がるので、年に1、2回は交換しなければならぬが、廃液は廃液業者に引き取ってもらうので問題ないとのことである。

このように、メッキ加工の過程で生じた廃液は、下水や海に流れることなく再利用され、その後、産業廃棄物として回収されることが分かった。環境問題・公害問題には何ら影響がないのではと安堵した。研修に同行した東郷の東成生社長も、「長島は本当に素晴らしい島であり、絶対に環境を壊すことはしない。長島でぜひ頑張りたい。」と強く決意を述べられた。

○まとめ

長岡技大のキャンパス誘致は町にとって千載一遇のチャンスである。連携協定を締結した長岡技大・鹿児島高専と様々な取り組みをすることによって、地元企業の活性化や新産業の創出、実践教育につながれば幸いである。

町議会としては誘致について執行部に強く働きかけるとともに、実現するよう協力していきたい。

また、東郷についても、どの地域も児童・生徒数の減少により、多くの廃校が発生し、跡地利用に四苦八苦している中で、企業進出したいと表明していた。地域に密着した企業経営を掲げており、今回の工場増設計画が、地域産業の創出に貢献することを期待している。

庁舎のあり方について

役場庁舎のあり方部会 部長 林 義明

長島町議会は、議会活性化特別委員会に

役場庁舎のあり方部会を設置、議会だより

No.46号で中間報告をし、以降3回の部会を

開催した。その結果を報告する。

役場庁舎を分庁方式から本所・支所方式

へ移行することについては、部員多数が賛

成であった。

部会のあり方として、本会議で、本所・

支所方式の議案が否決になれば、部会は

残すべき、可決になれば解散、可決になっ

ても、指江庁舎の活用方を検討するため

部会は残すべきとの意見があったが、6月

21日の最終本会議で、本所・支所方式へ移

行し、平成33年4月1日から施行する議案

が可決になった。

部会として一応の区切りができたとの

ことで、部会は解散することとなった。

議会のうごき

4月

- 7日 教職員宣誓式
- 13日 北薩空港幹線道路監査
- 長島町教育関係者・管理職合同歓迎会
- 17日 第1回広報特別委員会
- 19日 大型宿泊施設「民設・民営」立地協定式（鹿児島市）
- 21日 例月出納検査
- 25日 県政説明会（鹿児島市）
- 26日 役場庁舎のあり方部会行政視察（南大隅町・肝付町）
- 28日 第2回広報特別委員会
- 29日 獅子島招魂祭

5月

- 1日 水俣病犠牲者慰霊式（水俣市）
- 2日 離島振興町協議会議長会行政調査（徳之島町）
- 7日 長島フェスタ閉会式
- 9日 県離島振興町協議会議長会臨時総会・研修会（鹿児島市）
- 10日 大崎町議会行政視察受入
- 11日 出水地域開発促進協議会幹事会（長島町）
- 12日 長岡技大陳情・議員研修会（新潟県・福島県）
- 17日 長島町商工会第11回通常総会
- 22日 例月出納検査
- 24日 議会運営委員会
- 25日 第4回役場庁舎のあり方部会
- 26日 平成29年第2回臨時会
- 31日 町協議会議長・副議長研修会（東京都）

6月

- 6日 第5回役場庁舎のあり方部会
- 議会運営委員会
- 7日 天草・島原・長島架橋建設促進に係る要望活動（東京都）
- 8日 町道平尾浜渡線落成式
- 9日 第2回定例会開会（21日まで）
- 22日 例月出納検査
- 23日 東町漁協第69回通常総会
- 26日 株式会社東郷立地協定式（長島町）

編集後記

7月上旬、九州北部の豪雨で亡くなった方々のご冥福をお祈りしますと共に、被災された多くの皆様に心からお見舞い申し上げます。

私たち郷土は風光明媚な自然、日本一のブリ養殖、赤土パレイショ等観光、産業面からも大きな宝の島であることを皆様と共に誇りとしています。

しかし、過疎地域における課題である後継者不足は、本町にとっても深刻な問題であります。

一方、都会の若い人たちに「ふるさと志向」、「田園回帰」ムードが高まっている報道があります。本町出身者や本町に興味のある方に町民の皆様が共通意識を持って「ふるさと帰り、移住」促進運動を行い、深刻な後継者不足の解消に努めることが町の活性化を図るため重要なことではないでしょうか。

これから真夏日を迎えることとなりますが、熱中症など健康管理に努められ元気で過ごしてください。（川上）

【発行責任者】

議長 長 児島 薩男

【編集】

議会広報特別委員会
委員長 林 誠治
副委員長 古田 一博
委員 林 義明
石橋 東
川上 勇